

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	海岸公園の一部（馬術場を含む。）	
2 指定管理者	株式会社乗馬クラブクレイン	
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 26,063人（前年度比 125.2%） ・ 令和2年度 20,823人 ・ 令和元年度 20,289人	
	《事業》 ・ 馬術場の利用調整及び市民スポーツとしての乗馬普及振興を目的とした各種事業	
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 15,182千円（14,843千円） ・ その他市が負担した費用 0千円（0千円）	
	《収入》 ・ 使用料収入 1,504千円（1,267千円） ・ その他収入 0千円（0千円）	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 通年で利用者アンケートを実施	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	インターネットの活用やチラシによる施設のPR等、利用率向上に対する取り組みが行われ、適切に施設の管理運営を行っている。	24/24
II 施設の運営管理体制	適切な管理運営を行うための人員配置を行っており、危機管理マニュアルを作成し、事故や災害発生時の対応構築を十分に行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	定期的に館内外の巡回を行い、安全管理を行っているほか、節水など環境に配慮した取り組みを行っている。 馬術場の排水について、水質検査の基準を満たしておらず、改善が必要な状況であった。	23/24
IV サービスの質の向上	窓口案内のわかりやすい資料作成や、ホームページ等で施設を紹介し、定期的なスタッフミーティングにより情報共有をしてサービス向上に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	関係団体との月1回の調整会議を継続して行い、適切な施設運営を行い、自主事業を通じて公園の利用率向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（株式会社乗馬クラブクレイン）による自己評価》

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大ですべて大会は中止となりましたが、令和3年度は2件の実施利用がありました。山形県主催の「国民大会東北ブロック大会兼第47回東北総合体育大会」は参加延べ人数504人、延べ頭数は148頭。宮城県馬連理事長杯は参加延べ人数240人、延べ頭数は60頭。また、公益事業では昨年対比で利用減となりました（エサやり84.3%・曳き馬1周77.1%・曳き馬3周69.3%）。理由としては、新型コロナウイルス感染症感染拡大で3月27日～5月5日まで公益事業の利用を停止が影響したと考えられます。自主事業におきましては、宮城県で初めて小学生が参加できる企画「流鏝馬体験」や「馬のお医者さん体験」等、年4回実施。参加人数は70名。又、宮城県のアクティビティの紹介を「伊達武将隊」とコラボレーションすることで外部への認知度向上に一定の効果が得られたと考えます。会員制の利用は年々増加傾向にあり、一定の利用者の定着も見られ、公益事業、自主事業あわせると昨年対比で125.1%増と利用者数は増加傾向にあります。施設管理においては、専門分野につきましては再委託しましたが、緑地管理などは指定管理者が行うことにより経費削減に努めました。今後も当馬術場の設置目的である「市民スポーツとしての乗馬振興」を実現するべく適正な運営と自主事業の充実、近隣施設との共同イベント等、市民満足度向上のための活動を積極的に取り組んでまいります。

《施設設置者（仙台市）による評価》

インターネットの活用やチラシの配布等、様々な方法により施設のPRを行っており、利用率向上に取り組んでいる。

社内ポータルサイトにより、新人社員研修や危機管理マニュアル等が整備されているほか、事故があった場合など、終礼で報告するなど、全社的に情報共有を行っている。災害発生時の避難経路の確保なども、震災の経験を生かし、役割分担を行っており、常に可能な体制を整えている。

一方で、施設の維持管理について、馬術場の排水について、水質検査の基準を満たしておらず、改善が必要な状況であった。

月に1回の関係者との施設利用調整会議を継続して行う他、アンケートの意見を反映した自主事業を行うなど、来園者数向上に取り組んでいることは評価できる。

総合評価

A

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園管理課